

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年8月9日(2018.8.9)

【公表番号】特表2017-522942(P2017-522942A)

【公表日】平成29年8月17日(2017.8.17)

【年通号数】公開・登録公報2017-031

【出願番号】特願2016-574211(P2016-574211)

【国際特許分類】

A 46B 9/02 (2006.01)

【F I】

A 46B 9/02

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月28日(2018.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ベースから自由端に延びる複数のブラシ毛の配列を備え、

前記複数のブラシ毛の少なくともいくつかまたは全ては、相対的に広い、前記ベースからテーパの付いた第1の部分と、相対的に狭く、前記第1の部分から前記自由端に延びる第2の部分とからなり、

前記複数のブラシ毛は、間隙を介して相隔たり、オフセットされた2以上の行に配列されており、1つの行内の前記複数のブラシ毛の前記第1の部分の少なくとも一部が、隣接する1つの行内の前記第1の部分及び第2の部分を備える隣接する複数のブラシ毛の前記第1の部分の間を延びるように前記複数の行の複数の中心線が間隙を介して相隔っており、及び/または、

前記複数の行を垂直な方向から見たときに、1つの行内の前記複数のブラシ毛の前記第1の部分の幅は、それらの長さの一部にわたって、隣接する1つの行内の前記複数のブラシ毛の間の間隔を部分的に塞ぐように、隣接する1つの行の隣接する複数のブラシ毛の間の間隔と同じかまたは該間隔よりも大きく、

前記複数のブラシ毛は、使用時において、前記第2の部分が髪に入りこんで前記複数のブラシ毛の間に髪を分けるように働き、髪が前記複数のブラシ毛の間を通る際に、張力が髪に加わえられることを前記第1の部分が可能にするように、前記ブラシ毛の寸法と配置が定められていることを特徴とする髪のスタイリング用ヘアブラシ。

【請求項2】

同じ方向から見たとき、前記第1の部分及び第2の部分を備える前記複数のブラシ毛の前記第1の部分の最も幅広い部分の幅は、前記第2の部分の自由端または該自由端に近い部分の前記ブラシ毛の幅の少なくとも2倍または3倍である請求項1に記載の髪のスタイリング用ヘアブラシ。

【請求項3】

前記第1の部分及び第2の部分を備える前記複数のブラシ毛の長さは、その最大幅の7倍または9倍以下である請求項1または2に記載の髪のスタイリング用ヘアブラシ。

【請求項4】

前記第1の部分及び第2の部分を備える前記複数のブラシ毛の前記第1の部分の2つの対向するエッジは、前記第1の部分の全長にわたって前記対向する2つのエッジの間で少

なくとも 10° の最小平均角度を持って互いに向かうテープを持っており、前記第 2 の部分の対向する 2 つエッジは、前記第 2 の部分の全長にわたって前記対向するエッジの間が 5° の最大平均角度を持って互いに向かうテープを持ってている請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の髪のスタイリング用ヘアブラシ。

【請求項 5】

前記第 1 の部分の対向する 2 つのエッジの間の角度は、前記ブラシ毛の前記ベースから前記第 1 の部分の端部に向かって増加している請求項 4 に記載の髪のスタイリング用ヘアブラシ。

【請求項 6】

前記第 1 の部分の対向する 2 つのエッジは、湾曲している請求項 5 に記載の髪のスタイリング用ヘアブラシ。

【請求項 7】

前記複数のブラシ毛の前記第 1 の部分は、その全長の少なくとも一部にわたって横断面が非円形である請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の髪のスタイリング用ヘアブラシ。

【請求項 8】

前記複数のブラシ毛の前記第 1 の部分の横断面形状は、その全長の少なくとも一部にわたって伸びている請求項 7 に記載の髪のスタイリング用ヘアブラシ。

【請求項 9】

前記複数のブラシ毛の前記第 1 の部分は、その全長の少なくとも一部の横断面が実質的に橢円形である請求項 8 に記載の髪のスタイリング用ヘアブラシ。

【請求項 10】

前記橢円形の横断面の長軸上に位置する前記第 1 の部分の 2 つのエッジは、前記第 1 の部分の全長にわたって湾曲パスで互いに近づいており、前記橢円形の横断面の短軸上に位置する前記第 1 の部分の 2 つのエッジは、前記第 1 の部分の全長にわたって実質的に直線パスで互いに近づいている請求項 9 に記載の髪のスタイリング用ヘアブラシ。

【請求項 11】

前記ベースにおいて非円形の横断面を備える前記複数のブラシ毛の前記第 1 の部分は、前記第 2 の部分と接するところで実質的に円形の断面になるように徐々に形が変わる請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の髪のスタイリング用ヘアブラシ。

【請求項 12】

前記第 2 の部分の長さは、前記第 1 の部分の長さより長くない請求項 1 乃至 11 のいずれか 1 項に記載の髪のスタイリング用ヘアブラシ。

【請求項 13】

前記複数のブラシ毛は、それらの断面が前記ベースから前記自由端に向かって減少していくようにテープがついており、前記複数のブラシ毛のテープの度合いは、前記第 1 の部分と前記第 2 の部分との境界において急に変化する請求項 1 乃至 12 のいずれか 1 項に記載の髪のスタイリング用ヘアブラシ。

【請求項 14】

実質的に橢円形の断面を備えた複数のブラシ毛が、複数のブラシ毛の概ね平行で長い行と複数のブラシ毛の概ね平行な短い行とから形成された、細長い長方形の複数のブラシ毛の配列を形成する請求項 9 に記載の髪のスタイリング用ヘアブラシ、または請求項 9 に従属する請求項 10 乃至 13 のいずれか 1 項に記載の髪のスタイリング用ヘアブラシ。

【請求項 15】

各ブラシ毛の橢円形の断面の長軸が、そのブラシ毛が一部を形成する長い行の方向と実質的に一致する請求項 14 に記載の髪のスタイリング用ヘアブラシ。